

PT・OT・STのキャリアアップ指標

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
キャリア ステージ (年数：経験年数のめやす)		ステージ1 (1～2年)		ステージ2 (3～4年)		ステージ3 (5～6年)	
キャリア開発の課題		組織の一員としての自覚をもつ/PT・OT・STとしての専門性を理解する		職種間コミュニケーションと専門職としてのキャリア開発の定着		チームにおけるリーダーシップと専門職としての継続したキャリア開発	
能力	主な構成要素	指導のもとに臨床実践ができる		(自立して) 臨床実践ができる		臨床実践の指導ができる	
臨床実践能力	<ul style="list-style-type: none"> *対象理解・アセスメント *病態生理と診断 *急性期合併症の予防 *安全管理 (リスク管理・インシデントの対応) *廃用症候群の予防 *生活再構築の支援 *回復支援のマネジメント *早期離床と基本動作支援 *ADL拡大・自立への支援 *各障害の回復支援 *再発予防・健康管理 *退院支援と家族支援 *社会復帰への支援、地域連携構築 *社会資源の活用 	<ul style="list-style-type: none"> □1. 疾患・障害に対する情報収集ができる。 □2. 疾患・障害を理解し、評価ができる。 □3. 問題点の抽出、介入計画の立案ができる。 □4. 基準・手順に沿って安全な理学療法・作業療法・言語聴覚が実践できる。 □5. 日常生活活動の評価と自立に向けた検討が出来る。 □6. 急変時の対応ができる。 □7. 医療安全・感染予防・防災対策の基本的な実践ができる。 □8. 種々の報告書を作成できる。 <p>(6,7 に対して ISO の確認を行う。勉強会を依頼する。)</p>		<ul style="list-style-type: none"> □1. 個別性をふまえたアセスメントができる。 □2. 対象のQOL向上をめざした理学療法・作業療法・言語聴覚が実践できる。 □3. 重篤化回避のモニタリング・合併症予防ができる。 □4. 急変時の対応ができる。 □5. 評価、介入、効果判定を実践できる。 □6. 退院支援・社会資源の活用ができる。 □7. 多職種と連携した活動ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> □1. 理学療法・作業療法・言語聴覚の指導的役割ができる。 □2. 医療安全上の諸問題に対応できる。 □3. 退院支援・地域連携構築に向けて主体的な役割ができる。 	
対人能力	<ul style="list-style-type: none"> *コミュニケーションスキル *組織内外との折衝能力 (交渉力) *連携能力 *退院支援と地域支援構築 *社会資源の活用・ネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> □1. 個人、家族の尊厳やプライバシー尊重 (倫理的配慮) した対象者理解ができる。 □2. 自分の考えを他者 (対象者、スタッフ) に伝えることができる。 □3. 対象者や多職種の意見や考えを尊重できる。 □4. 多職種とのコミュニケーションをとることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> □1. 医療倫理の知識を深め、対象者への共感的理解と対応ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> □1. 対象者の権利擁護者としてコミュニケーションスキルを発揮できる。 □2. 対象者とその家族との信頼関係を築き、倫理的問題に対応できる。 □3. 退院支援を通して、地域関係者と積極的に関わることができる。 	
研究能力	<ul style="list-style-type: none"> *研究の意義・目的・方法 *研究活動の実践 *文献検索・購読 (クリティーク) *症例・事例報告 *学会発表 (プレゼンテーション) *誌上发表 (論文作成) 	<ul style="list-style-type: none"> □1. 基本的な研究の意義とその方法について理解できる。 □2. 日々の臨床実践を振り返り、疑問解明や課題の明確化に取り組むことができる。 □3. 研究の基礎知識を学び、文献活用ができる。 □4. 成果をまとめ、研究発表ができる。 <p>→ (1,2,3,4まとめて) 支部、院内の症例検討会の発表を行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> □1. 自己の課題を明確にし、研究的視点で継続的に取り組むことができる。 □2. 研究のプロセスを踏み、研究テーマを探索できる。 □3. 学会発表等で用いる一般的な研究方法について理解できる。 □4. 研究の助言と学会参加に取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> □1. 自己の研究課題に取り組むことができる。 □2. 学会等において、研究の成果を発表できる。 	
指導 (教育) 能力	<ul style="list-style-type: none"> *臨床のモデル実践 *実践の質の向上活動 *臨床実践における教育 臨床実習指導 職場の後輩育成 *相談・指導 *教育心理 *研修会等における教育 (講師) 	<ul style="list-style-type: none"> □1. 臨床実践における疑問・不確かな知識・技術を明確にできる。 □2. 学生の臨床実習指導の意義やその方法についての知識を習得できる。 □3. 学生・後輩等が自己決定できる指導方法について理解できる。 □4. インフォームド・コンセントの必要性を理解し、実践できる。 		<ul style="list-style-type: none"> □1. 新入職員に対し、基本的な臨床実践の一連のプロセスを指導できる。 □2. 後輩や学生に対して、専門職としての指導ができる。 □3. 学生や後輩等が自己決定できるよう指導ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> □1. PT・OT・STの新人教育係活動ができる。 □2. 学生の臨床実習指導者の役割ができる。 □3. OJTを通じた臨床実践の指導ができる。 □4. 院内の研修会における講師や助手ができる。 	
マネジメント能力 リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> *他職種との協業・連携推進 *組織マネジメント *リーダーシップとメンバーシップ *情報管理 (回復支援のケアマネジメント) 	<ul style="list-style-type: none"> □1. 社会人 (医療人) としての自覚をもち、行動 (報告・連絡・相談) ができる。 □2. 組織の理念・方針を理解し、組織の一員として責任ある行動ができる。 □3. 属する組織・チームにおけるメンバーの役割を理解し、行動できる。 □4. リハチーム (多職種) の役割を理解し、連携できる。 		<ul style="list-style-type: none"> □1. 多職種との協業・連携に主体的な関わりができる。 □2. 資源 (物・情報等) の有効活用ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> □1. リハ科・PT・OT・STにおけるビジョンをもち、中長期、年間の計画を理解できる。 □2. リハ科・PT・OT・STの目標達成に向けて主体的に行動できる。 □3. 組織の業務改善の提案ができる。 □4.トラブルに関して迅速的な見解をもって対処できる。 □5. 社会の変化や医療情勢に関心をもって情報収集ができる。 □6. 他職種との連携において、率先して主体的な関わりができ、対象者のニーズに沿った対応ができる。 	
自己啓発	<ul style="list-style-type: none"> *職能団体への参画 *倫理的観点 *能力開発 自己到達度 (クリニカルラダー) 目標管理 *社会貢献 *ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> □1. 職能団体 (PT・OT・ST協会) の役割を理解する。 □2. 職能団体の会員であることを理解し、各種事業への積極的、自主的に参加できる。 □3. 職能団体が掲げる「倫理綱領」を理解できる。 □4. 新人教育プログラムを終了する。 □5. 問題意識をもち、自己の学習課題を明確にできる。 □6. 専門職として自覚ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> □1. 都道府県士会の活動へ積極的に参画できる。 □2. 施設内外の教育プログラムから自己の課題・関心に沿って選択し、自発的に研修に参加できる。 □3. 自己の学習課題について、学習計画を立案・実践・評価できる。 		<ul style="list-style-type: none"> □1. 職能団体の事業内容を理解し、活動へ積極的に参画できる。 □2. 職能団体の事業への参画を通じて、社会貢献の意義を理解し、実践できる。 □3. 倫理的感性を高め、後輩の模範となることができる。 □4. 自己のめざす方向性・専門職種観の確立に向けて、継続的に施設内外の教育活動や学会に参加できる。 □5. 学習成果を後輩・同僚に伝達すると共に活用できる。 □6. 専門職種の発展・開発・工夫に向けて取り組むことができる。 	
コメント							
評価							

		7年	8年	9年	10年	11年～
キャリア ステージ (年数：経験年数のめやす)		ステージ4 (7年～)		ステージ5 (9年～)		ステージ6 (11年～)
キャリア開発の課題		チームマネジメントとリハビリテーション活動を通しての社会活動一定水準以上の能力の開発		部門マネジメントとリハビリテーション活動を通しての社会活動/より専門的な臨床実践能力開発		
能力	主な構成要素	チームのマネジメントができる		部門・組織のマネジメントができる		組織を含めた地域のマネジメントができる
臨床実践能力	<ul style="list-style-type: none"> 対象理解・アセスメント 病態生理と診断 急性期合併症の予防 安全管理 (リスク管理・インシデントの対応) 廃用症候群の予防 生活再構築の支援 回復支援のマネジメント 早期離床と基本動作支援 ADL 拡大・自立への支援 各障害の回復支援 再発予防・健康管理 退院支援と家族支援 社会復帰への支援, 地域連携構築 社会資源の活用 	<input type="checkbox"/> 1. 各病期における卓越した理学療法・作業療法・言語聴覚の実践と質向上・専門性を高める活動ができる。 <input type="checkbox"/> 2. 理学療法・作業療法・言語聴覚の教育・普及のための社会活動ができる。 <input type="checkbox"/> 3. 医療動向をふまえ, 理学療法・作業療法・言語聴覚の管理, 医療安全・感染予防ができる。 <input type="checkbox"/> 4. 退院支援・地域連携構築に向けた活動の指導ができる。		<input type="checkbox"/> 1. 各病期における理学療法・作業療法・言語聴覚の協働を推進する活動ができる。 <input type="checkbox"/> 2. 理学療法・作業療法・言語聴覚の教育・普及のための部門間・組織内活動ができる。		<input type="checkbox"/> 1. 組織外に標準的な理学療法・作業療法・言語聴覚の実践と質向上・専門性を高める活動ができる。 <input type="checkbox"/> 2. 理学療法・作業療法・言語聴覚の教育・普及のための地域活動ができる。 <input type="checkbox"/> 3. 医療動向をふまえ, 理学療法・作業療法・言語聴覚, 医療安全管理・感染管理・防災管理ができる。
対人能力	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションスキル 組織内外との折衝能力 (交渉力) 連携能力 退院支援と地域支援構築 社会資源の活用・ネットワーク 	<input type="checkbox"/> 1. スタッフのコミュニケーション能力育成の役割ができる。 <input type="checkbox"/> 2. 地域連携を推進する人間関係が調整できる。		<input type="checkbox"/> 1. 部門間・組織内のコミュニケーション能力育成の役割ができる。 <input type="checkbox"/> 2. 地域連携を推進する人間関係作りに取り組むことができる。		<input type="checkbox"/> 1. 組織外とのコミュニケーション能力育成の役割ができる。 <input type="checkbox"/> 2. 地域連携を創出する人間関係作りができる。
研究能力	<ul style="list-style-type: none"> 研究の意義・目的・方法 研究活動の実践 文献検索・購読 (クリティーク) 症例・事例報告 学会発表 (プレゼンテーション) 誌上発表 (論文作成) 	<input type="checkbox"/> 1. 自らが目指す専門領域・分野の明確化と研究的取り組みを継続できる。 <input type="checkbox"/> 2. 学会等において, プレゼンテーションができる。 (研究を実践すると同時に, 成果を論文としてまとめることができる。)		<input type="checkbox"/> 1. 研究活動を計画実践できる。 <input type="checkbox"/> 2. PT・OT・ST での研究を指揮し, 研究成果をまとめることができる。 <input type="checkbox"/> 3. 後輩の研究について, 適切な指導ができる。		
指導 (教育) 能力	<ul style="list-style-type: none"> 臨床のモデル実践 実践の質の向上活動 臨床実践における教育 臨床実習指導 職場の後輩育成 相談・指導 教育心理 研修会等における教育 (講師) 	<input type="checkbox"/> 1. 職場における人材育成方法に基づき, 後輩の育成ができる意識を持つ。 <input type="checkbox"/> 2. PT・OT・ST における人材育成について, 率先して主体的に係ることができる。 <input type="checkbox"/> 3. 各種研修会における講師や学会の座長などができる。 <input type="checkbox"/> 4. 住民の教育・啓発活動に寄与できる。		<input type="checkbox"/> 1. 部門の人材育成ができる。 <input type="checkbox"/> 2. ある特定の分野における研修会や学会における講師や座長などができる。 <input type="checkbox"/> 3. 他部門の人材育成に協力ができる。 <input type="checkbox"/> 4. 住民の教育・啓発活動に寄与できる。 (目標管理における支援・指導ができる。)		<input type="checkbox"/> 1. 県士会の人材育成に協力できる。 <input type="checkbox"/> 2. ある特定の分野における研修会や学会の運営に協力できる。 <input type="checkbox"/> 3. 住民の教育・啓発活動に寄与できる。
マネジメント能力 リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 他職種との協業・連携推進 組織マネジメント リーダーシップとメンバーシップ 情報管理 (回復支援のケアマネジメント) 	<input type="checkbox"/> 1. PT・OT・ST として組織運営を行うと同時に, 近隣地域における役割を果たすことができる。		<input type="checkbox"/> 1. 保健・医療・福祉の動向をとらえ, 社会のニーズに応えられるよう, 部門運営を行うことができる。		<input type="checkbox"/> 1. 保健・医療・福祉の動向をとらえ, 地域社会のニーズに応えられるよう, 地域マネジメントを行うことができる。 <input type="checkbox"/> 2. 部門のリーダーとして, 地域マネジメントを行うと同時に, より良い地域マネジメントを目指した取り組みをすることができる。 ※病院の方針による
自己啓発	<ul style="list-style-type: none"> 職能団体への参画 倫理的観点 能力開発 自己到達度 (クリニカルラダー) 目標管理 社会貢献 ボランティア 	<input type="checkbox"/> 1. 職能団体の事業内容を理解し, 活動へ積極的に参画できる。 <input type="checkbox"/> 2. 倫理的感性を高め, 後輩の模範となることことができる。 <input type="checkbox"/> 3. 専門領域の実践能力の維持向上と, 自己のキャリアアップの継続的な取り組みができる。		<input type="checkbox"/> 1. 職能団体および都道府県において役割をもち, 社会的な貢献ができる。 <input type="checkbox"/> 2. 他職能・学術団体の活動に理解を示し, 様々な価値観を理解することができる。 <input type="checkbox"/> 3. 専門領域の実践・指導能力の維持向上と, 自己のキャリアアッパーを認識できる。		<input type="checkbox"/> 1. 職能団体および都道府県, 他職能団体・学術団体等の活動に協力し, 社会的な貢献ができる。
コメント						
評価						